

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

平成25年11月の「優しさ通信」

足の小さな異変 軽くみないで

ー 糖尿病や透析患者 最悪切断も

早期発見・治療へ専門医連携



足の血流が悪化する末梢動脈疾患（PAD）や、さらに重症化した重症下肢虚血（CLI）は、足の組織が壊死して切断に至る危険が高まります。

国内では人口の高齢化や糖尿病、人工透析患者の増加でこうした足病変の患者が増えており、PADは約330万人、CLIは約18万人との推計もあります。

形成外科、循環器科、血管外科など異なる専門領域の意思の連携が不可欠で、各地でネットワークが動き始めました。

※足の健康のセルフチェック項目：・しびれや冷感がある ・冷えは朝晩に特に強い

- ・痛みで長く歩けない ・足の皮膚の色が変わってきた
 - ・風呂上りでも足首から下が青白い ・小さな傷でもなかなか治らない
- (2013年10月3日 日本経済新聞記事から抜粋)

介護費用 総額に上限 ー 厚労省案

軽度対象、15年度から 10年後に2000億円抑制



厚生労働省は、介護保険サービスの費用の伸びを抑制する仕組みを導入します。

症状が軽い人向け（要支援者現在約150万人）5年度から年間の事業費に上限を設け、75歳以上の高齢者人口の増加率並みの年3～4%に伸びを抑えます。2025年度には2000億円の抑制効果が見込まれます。

(2013年10月11日 日本経済新聞記事から抜粋)

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 3
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

介護費 高所得者は倍増？ — 年金280万円目途検討



高齢であっても収入が多い人には今よりもさらに負担してもらう。

政府はこんな方向で介護保険制度の改革議論を進めています。限られた富裕層だけに関係する話ではありません。

※ 介護保険改革案の主な項目

- ・一定以上の所得のある人の利用者負担を1割から2割に引き上げ。
- ・一定以上の所得のある世帯の月当たり負担限度額を引き上げ。
- ・軽度者の介護サービスを全国統一サービスから市町村の独自サービスに移行。
- ・特別養護老人ホームへの入居者を中重度者に限定。
- ・特別養護老人ホームの入居者への補助を厳格化。
- ・低所得者の介護保険料を軽減。

(2013年10月30日 日本経済新聞記事から抜粋)

